

愛知の土地改良

□ 第1回支会会長会議開催	2
□ 第1回参与会開催	2
□ 叙勲	2
□ 農業農村整備の集い	3
□ 平成30年度農業農村整備事業に関する重点要請活動を実施	4
□ 平成29年度土地改良施設維持管理適正化事業加入団体(37期生～41期生)打合せ会議開催	5
□ 水土里情報システム操作研修会開催	6
□ 土地改良区体制強化事業情報	6
□ あいちの農業用水展開催	7
□ 平成29年度水土里レポーター	7

No.
190
平成29年9月1日

みどり
水土里ネット愛知
発行/愛知県土地改良事業団体連合会
名古屋市中区栄生一丁目18番25号
電話(052)551-3611(代)



田植え
(5月14日)



2週間後
(5月28日)



4週間後
(6月11日)

(7月20日)
田んぼアート
名古屋市區

第1回支会長会議 開催

8月17日、第1回の支会長会議を、愛知県土地改良会館6階第1研修室において開催した。会議には中野治美会長(海部支会長)、小久保三夫副会長(豊橋支会長)、長瀬保名古屋支会長、恒川宣彦一宮副支会長、片岡勝城半田支会長、神谷金衛岡崎支会長、川上万一郎幡豆支会長、三浦孝司豊田

支会長が出席された。会議は初め中野会長より挨拶がなされ、続いて、中野会長を座長に選任し、提出した下記議案については、それぞれ、資料に基づき説明が行われた後、活発な意見交換が行われた。

記

提出議案

- (1) 理事会提出事項について
その他

第1回参与会 開催

参与会は定款第31条「この会の業務を適切に行うため必要があるときは、参与若干人を置くことができる」に基づき年数回開催し、諮問に応じたいだいでいるもので、今年度、第1回参与会を、7月28日愛知県土地改良会館7階大会議室において開催した。

参与会は山本信介専務理事の挨拶の後、参与を

代表し、勝又久幸愛知県農林基盤局長より挨拶をいただき、議事に入った。提出した議案は8月24日開催の理事会に提出する平成28年度事業報告並びに一般会計収支決算等、それに関連した本会の短期事業計画も併せて協議された。また、農業農村整備の集い及び要請活動について報告をした。

叙 勲

政府は平成29年4月29日付で平成29年春の叙勲の受章者を発表しました。

本会会員からは佐野幸雄(元)飛鳥土地改良区理事長が旭日双光章の栄に浴されました。

このたびの栄えある受賞を心からお慶び申し上げます。益々ご健健でご活躍されますようお願いいたします。

旭日双光章



佐野 幸雄 氏

(元)飛鳥土地改良区理事長

— 農を守り、地方を創る予算の確保に向けて —



二階会長挨拶

6月26日、東京都千代田区の砂防会館別館シェーンパッハ・サボード、全国水土里ネット主催による「農業農村整備の集い」が開催された。

この集いは、多数の国会議員を含め、全国の土地改良関係者約1,200名が一同に会し、現下の情勢を共有した上で、農業農村整備の一層の推進を図っていくことを目的に開催されたもので、本県からは、中野治美会長を始め、本会会員、愛知県より27名が参加した。

冒頭、二階俊博全国水土里ネット会長が、「本年度は、土地改良にとって、先月公布された改正土地改良法を軸に、新たな展開を図り、平成30年度に向けて予算確保を目指す大きな節目の年となる。この年を実りあるものとするためには、やはり引き続き『闘う土地改良』の旗を高く掲げ、前進する以外にはない。政府は去る9日、いわゆる『骨太の方針』を閣議決定し、『土地改良事業の強化』も力強く盛り込まれた。このように予算や党の政策決定に際しても、土地改良への強化を一時とも緩めてはならない。皆さんとともに、この『闘う土地改良』を標榜した以上、全国の農民の皆さんのためにも、土地改良や農業の問題が前進している姿を確認できるまで、力を尽くし合おうではないか」との強い気持ちを示された。

次に、山本有二農林水産大臣始め多数の国会議員から祝辞をいただいた。

その後、進藤金日子参議院議員が、「土地改良事業により『農地の大区画化、汎用化、畑地化、維持保全等の強化』を実現するために、全国の土地改

良関係者とともに私自身も、一致団結して農地改革の先頭に立ち、必要な予算の確保に頑張ってまいらなければならない」と力強く表明された。

その後、事例発表では、北海道の富良野土地改良区から「基盤整備事業により産地収益力が向上」、静岡県の新丹谷土地改良区から「新丹谷地区における取組事例～健康へのチャレンジ!～」をテーマに各事業の取組経過や事業効果などが報告された。

また、国に対して、全国の水土里ネットがこれまで培ってきた経験と技術を活用し、『闘う土地改良』のスローガンの下、安定的・計画的な農業農村整備事業の実施に十分な予算措置を講ずるよう求める要請事項が次のとおり示された。

1. 農業競争力の強化や国土強靱化を図るため、改正土地改良法を積極的に活用した現場適合性の高い柔軟な事業の創設と現場への普及
 1. 施設としてしなやかな農業・農村を支える農業水利施設等について、近年の急激な農業構造の変化や災害・突発事故の多発等を踏まえ、管理体制の整備・強化への支援
 1. これらの事業を円滑に行うため、米の直接支払交付金が廃止される平成三十年度当初予算では、土地改良予算の経緯も踏まえ、現場のニーズに十分応えられる規模の予算の確保
- 集い終了後、採択された要請書により、全国水土里ネットは農林水産省始め関係省庁に要請活動を実施した。



進藤参議院議員祝辞

平成30年度 農業農村整備事業に関する重点要請活動を実施

6月20日、東海農政局において、中野治美会長、山本信介専務理事により平成30年度農業農

村整備事業に関する20項目の重点要請を、田辺義貴東海農政局局長を始め局幹部職員へ実施した。



東海農政局幹部への要請



田辺東海農政局局長に要請書を手交

また、6月26日に、農林水産省農村振興局において、中野会長、山本専務理事により同内容の要請について、室本隆司農林水産省農村振興局長を始め農村振興局幹部職員への要請活動を実施

した。さらに、当日開催された「農業農村整備事業の集い」終了後においても、関係国会議員それぞれに要請活動を行った。



室本次長に要請書を手交



進藤金日子参議院議員への要請

要請書並びに重点要請項目の内容は次のとおりです。

要 請 書

愛知県の農業農村整備事業の推進につきましては、日頃から格別のご理解とご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

経済財政運営と改革の基本方針2017(骨太の方針)が6月に閣議決定され、その中で、「**ほ場整備事業と農地中間管理機構との連携円滑化による農地整備と集積・集約化の推進及び、土地改良事業による農地の大区画化や汎用化・畑地化、維持・保全等の強化**」が追加されたことは、農業農村整備事業の着実な推進に向け大変心強いものであり、感謝をいたします。

また、先般の平成28年度補正においては、**昨年度990億円より大幅な増額の1,752億円**、平成29年度の予算概算決定におきましても、**農業農村整備関連予算について、前年度に対し200億円の増額**を決定していただき、補正を含めた予算額は、平成21年度の当初予算と同等となる対応に重ねてお礼を申し上げます。

しかしながら、地域ニーズに応じた事業を展開するためには、**農業農村整備事業の当初予算の安定的な確保が不可欠**であります。

本県は、古くから木曾川・矢作川・豊川の三大水系を中心として、先人の努力により数多くの農業用水路が開削され、戦後は愛知用水を始め、各水系で大規模水利事業を展開してきたことにより、**農業生産額で全国3番手グループ、中部地方最大の農業県**であり、これを支えていくためにも、**計画的かつ着実に農業生産基盤の整備を進めていかなければなりません。**

5ページへ続く

これらの施設を、更に機能的かつ高度に活用し、維持・更新をしていくためには、**国営事業を着実に推進**していただくと共に、その他の施設についても、**適切な時期に次代を見据えた更新や機能保全対策**を実施していく必要があります。

一方で、本県は**我が国最大規模のゼロメートル地帯を有する特殊な事情**を抱えております。南海トラフで発生する大規模地震により、海岸堤防は沈下・崩壊し、津波到達前の浸水や津波による堤防流出による甚大な被害が想定されています。また、近年ゲリラ豪雨等も多発しております。そのため、**防災・減災に資する農業用施設の耐震化・更新整備**が喫緊の課題であります。

今回、こうした課題や地域のニーズに応えるべく、**3つのテーマで合わせて20項目の重点要請**を行いたいと思っております。愛知県土地改良事業団体連合会は、今後も国・愛知県と連携して効率的・効果的な農業農村整備事業を展開していく所存でありますので、格別のご高配をお願いいたします。

重点要請20項目

I 地域ニーズに応じた攻めの農業農村整備事業の展開について

- 1 農業農村整備事業の着実な推進について
- 2 県営耐震対策一体型かんがい排水事業の創設について
- 3 基幹的農業水利施設における応急対策事業の創設について
- 4 農業基盤整備事業における農業者の費用負担の軽減について
- 5 土地改良事業参加資格者に係る事務手続きの見直しについて

II 国土強靱化に資する農業農村防災対策と力強い農業を支える農業生産基盤の整備について

- 1 農業の競争力強化に向けた農業基盤整備事業の促進について
- 2 農村地域防災減災事業の促進について
- 3 農業用排水路の老朽化及び長寿命化対策について
- 4 特定農業用管水路等特別対策事業の促進について
- 5 農山漁村地域整備交付金の促進について
- 6 多面的機能支払交付金による地域の共同活動の着実な促進について
- 7 基幹水利施設を管理する土地改良区への支援について
- 8 農業水利施設の適切な維持管理に対する支援について

III 暮らしを支える大規模水利施設の耐震化及び更新整備について

- 1 国営総合農地防災事業 新濃尾地区の推進について
- 2 国営総合農地防災事業 矢作川総合第二地区の推進について
- 3 国営施設機能保全事業 尾張西部地区の推進について
- 4 国営土地改良事業地区調査 矢作川沿岸地区の推進について
- 5 水資源機構営 豊川用水二期事業の推進について
- 6 愛知用水施設における耐震及び老朽化対策の推進について
- 7 木曾川用水施設における老朽化対策の推進について

平成29年度 土地改良施設維持管理適正化事業加入団体 (37期生～41期生) 打合せ会議 開催

5月10日、愛知県土地改良会館7階大会議室において平成29年度土地改良施設維持管理適正化事業加入団体打合せ会議を開催し、加入団体60団体75名の出席のもと次の事項の打合せを実施した。

1 適正化事業実施計画について

- (1) 適正化事業実施要綱等の一部改正について
- (2) 平成29年度加入適正化事業(41期生)の年度別実施状況調査
- (3) 平成29年度適正化事業実施計画調査

2 適正化事業事務手続きについて

また、打合せ会議終了後、希望加入団体の個別案件の打合せを実施した。



適正化事業加入団体打合せ

水土里情報システム操作研修会 開催

《システム研修》

水土里情報システムの運営については6年目を迎え、必要に応じてシステム改良を行っている。

本年度は平成29年5月24日～30日(但し土日を除く)にシステムの基本機能の操作を対象とする「水土里情報システム操作研修会」を開催した。

◎システムの基本的な操作研修

主な研修項目は、認証、画面構成、表示パターン管理、計測、属性表示、塗り分け、ラベル表示、検索、メモの作成、印刷等。

(参加団体:34団体 参加者:100名)

今後も本システムにより皆様の業務の効率化が図れるような内容の実務的な研修会を進めてまいります。

《愛知県職員システム研修》

また、平成29年5月15日、16日、19日～23日(但し土日を除く)に、左記のシステムの基本操作研修に加えて、県事業情報の運用を行うための操作について愛知県職員を対象に研修会を開催した。

主な研修内容

◎システムの基本的な操作研修

◎県事業情報の運用を行う操作

新規地区作成及び継続地区更新作業における操作
(参加者:16名)



水土里情報システムの研修

土地改良区体制強化事業 情報

Ⅱ 平成29年度 愛知県受益農地管理強化委員会 Ⅱ

5月17日、愛知県土地改良会館6階第1研修室において愛知県受益農地管理強化委員会を開催し、次の議案について協議し、承認された。

- 1 平成28年度受益農地管理強化対策実績報告並びに収支決算について

- 2 平成29年度受益農地管理強化対策実施計画並びに収支予算について
- 3 遅延地区について

Ⅱ 平成29年度 愛知県管理運営体制強化委員会 Ⅱ

5月17日、愛知県土地改良会館6階第1研修室において愛知県管理運営体制強化委員会を開催し、次の議案について協議し、承認された。

- 1 平成28年度施設・財務管理強化対策実績報告並びに収支決算について(土地改良施設の診断・管理指導及び土地改良施設の管理等に関する苦情・紛争

- 等の対策)
- 2 平成29年度施設・財務管理強化対策実施計画並びに収支予算について(土地改良施設の診断・管理指導及び土地改良施設の管理等に関する苦情・紛争等の対策)

Ⅱ 平成29年度 連絡調整会議 Ⅱ

6月13日、愛知県土地改良会館6階第1研修室において連絡調整会議を開催した。愛知県農地計画課、農地整備課及び各農林水産事務所建設課のアドバイザーに出席いただき、平成29年度愛知県管理運営体制強化委員会について報告し、土地改良施設

維持管理適正化事業(37～41期生)の年度別実施状況・実施計画、平成29年度適正化事業実施計画及び平成30年度新規(42期生)事業実施要望等について協議し、土地改良施設の維持管理、事業の拡充強化について意見が交換された。

平成29年度 あいちの農業用水展～水が育てる愛と知の風土～

アンフォーレ(安城市)で開催！

「水の週間」に関連して、8月4日～6日に愛知県、水士里ネット愛知、(公財)愛知・豊川用水振興協会主催(東海農政局、安城市、水士里ネット明治用水、愛知県農業土木測量設計技術研究会共催)で、「水が育てる愛と知の風土」をテーマに「あいちの農業用水展」をアンフォーレ(安城市)において開催した。

この「あいちの農業用水展」は、県内の農業用水の歴史と変遷等をパネルにより時代を追って紹介することにより、先人の努力の積み重ねにより育まれてきた「水」の重要性について広く一般に周知し、関心を高めてもらうことを目的として毎年開催している。

また、「世界かんがい施設遺産」に登録(平成28年11月)された明治用水の登録周年祭も併せて開催された。

メインイベントの5日は、水士里ネットや明治用水に関するパネル展示に加え、明治用水の昔と今を紹介する動画の上映、明治用水の探検を体験できるVR(バーチャルリアリティ)体験、カエル脱出装置の実演会、田んぼの生きもの展示(約10種類の魚や水生昆虫などを展示)等を実施した。

また、大村秀章愛知県知事、浜田実安城副市長

が挨拶をされた後、田辺義貴東海農政局長、中野治美水士里ネット愛知会長、神谷金衛水士里ネット明治用水理事長を交え、明治用水クイズイベントを実施した。

併せて、本会の行事である第19回広報キャンペーン「あいちの農業・農村パネル展」を開催し、パネルに関するクイズを行い、参加者には記念品として水士里ネット明治用水及び、JA あいち中央、黒柳製粉(株)、山崎製パン(株)安城工場によって共同企画された「三河の米粉入りパン」を配布した。

会場は終日にぎわいが絶えることなく、会場付近で開催された「安城七夕まつり」とも重なり、3日間で1,700名あまりの来場者があった。



田んぼの生き物展示



クイズイベント



パネル展

平成29年度 **水士里レポーター**

21世紀土地改良区創造運動の更なる浸透を図るため、地域の情報を発信していただく水士里レポーターが全国で活躍しています。平成29年度の本県のレポーターは、右記の水士里ネット職員の方にそれぞれ委嘱しご協力いただいております。今後の地域からの情報発信についてよろしくお願いいたします。



(敬称略)

水士里ネット南陽 事務職員 安達直子
水士里ネット愛知用水 総務課長 澤 廣幸
水士里ネット豊田 総務課技師 加藤利明

なお、全国から投稿された発信情報は、新・田舎人フォーラム(全国水士里ネットホームページ <http://www.inakain.or.jp/jigyoku/tabid/106/Default.aspx>)または農業農村整備情報総合センターのホームページ「NNニュース(http://www.aric.or.jp/03_book/nnnews/nnnews.htm)」に掲載されております。本県レポーターの発信情報も掲載されていますので是非ご覧ください。

平成29年8月21日現在の日本政策金融公庫の農業基盤整備資金の貸付金利は次のとおりです。
金利は金融情勢により変動します。
最新の金利は名古屋支店農林水産事業農業食品第二課(TEL052-582-0745)にお問い合わせください。

区分	利率一覧(平成29年8月21日現在)				
	借入期間にかかわらず	融資期間別(一例)			
		5年	10年	15年	20年
県営補助残	0.45%	-	-	-	-
団体営補助残	0.30%	-	-	-	-
非補助	0.30%	-	-	-	-
災害復旧	-	0.20%	0.20%	0.30%	0.30%

研修会名	開催日	対象者
農業用排水機県営移管期成同盟会事業視察研修会	10月10～11日	同盟会会員役職員
水土里ネット事業視察研修会	10月30～31日	事業実施会員役職員
水土里情報システム応用操作研修会	10月又は11月予定	水土里情報加入団体職員
多面的システム操作研修会	12月予定	多面的システム利用団体
技術力向上事業研修会	11月予定	市町村、水土里ネット職員
水土里ネット役職員研修	1月中旬	水土里ネット役職員

農業用施設安全管理推進看板を作製しました。是非、安全管理の啓発にご活用ください。



看板希望の会員さんは下記までお申し込みください。

農業用排水機県営移管期成同盟会(愛知県土地改良事業団体連合会 総務課内) 電話052-551-3611

第16回 あいちの農業・農村フォトコンテスト 募集

愛知県の活力ある美しいむらづくりのための農業農村整備を推進し、すばらしき、あいちの農業・農村を広く一般に紹介するため、広報キャンペーンの一環として作品を募集します。



テーマ 「水土里が溢れる土地改良施設」

- | | | |
|---|--------------|----------------|
| 賞 | 水土里のフォト大賞 | 1点(賞状、副賞3万円) |
| | 水土里のフォト優秀賞 | 2点(賞状、副賞1万5千円) |
| | 水土里のフォト入選 | 10点(賞状、副賞5千円) |
| | 多面的機能共同活動特別賞 | 3点以内(賞状、副賞1万円) |
| | 水土里のフォト参加賞 | 参加者全員(記念品) |

応募締切

平成29年
11月30日
(当日消印有効)



※詳細は、水土里ネット愛知ホームページ(<http://www.aichi-doren.or.jp/>)をご覧ください。

残暑お見舞申し上げます。

水土里ネット愛知 会長 中野 治美

外役職員一同